

JFAエリートプログラム

JFA アカデミー 2022



JFAの理念

サッカーを通じて豊かなスポーツ文化を創造し、
人々の心身の健全な発達と社会の発展に貢献する。

JFAのビジョン

サッカーの普及に努め、スポーツをより身近にすることで、
人々が幸せになれる環境を作り上げる。
サッカーの強化に努め、日本代表が世界で活躍することで、
人々に勇気と希望と感動を与える。
常にフェアプレーの精神を持ち、国内の、
さらには世界の人々と友好を深め、国際社会に貢献する。

JFAのバリュー

エンジョイ	スポーツの楽しさと喜びを原点とすること
プレイヤーズファースト	選手にとっての最善を考えること
フェア	オープンかつ誠実な姿勢で公正を貫くこと
チャレンジ	成長への高い志と情熱で挑戦を続けること
リスペクト	関わりのあるすべてを大切に思うこと



フィロソフィー

常に（どんなときでも、日本でも海外でも） ポジティブな態度で何事にも臨み、 自信に満ち溢れた立ち居振る舞いのできる人間を育成する。

日本サッカー協会では、2005年1月1日に、「サッカーを通じて豊かなスポーツ文化を創造し、人々の心身の健全な発達と社会の発展に貢献する」という理念を実現するために、『JFA2005年宣言』を行いました。その中で2050年までには日本でのFIFAワールドカップの開催と優勝という明確な目標『JFAの約束 2050』を掲げました。また、その目標に向けて2030年までに達成すべき新たな目標として、2030年にはサッカーファミリーが800万人に、FIFAワールドカップに出場し続けてベスト4に、これらを達成するために世界でトップ3の組織になるという『JFAの目標 2030』を設定しました。

私たちは、現代の日本であまり使用されることのない「エリート」という言葉を使っています。「エリート」という言葉は日本の中では抵抗感が強く、根付いて来なかった概念であり、誤解を招きやすい面がありますが、本来の意味を重視し、敢えて使用しています。本来、「エリート」とは特権階級を指すものではなく、社会の各分野でのリーダーであり、むしろ先頭に立って闘いに行く存在、社会に対する責任を果たす存在を指すものなのです。

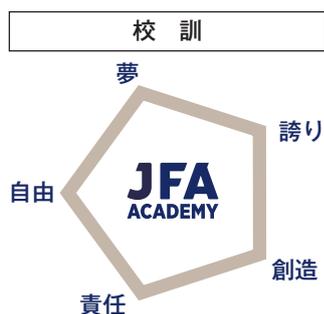
私たちはサッカー界で、真の意味でのエリートとなる人材を育てたいと思っています。それがサッカーの場面でも必要とされる判断力やリーダーシップの向上に大いにプラスになると考えていますし、また、サッカー界あるいはそれを越えた社会で将来的にリーダーとなりうる人材を育成したいと考えています。リーダー不在、判断力不足は、

現代の日本社会の大きな社会問題であるとも言えます。

サッカーという競技の特徴を把握した上で、子どもの発育発達の特徴を研究し、「長期的視野に立った育成」という観点から、それぞれの年代の特徴に最適な環境・指導を与えることが重要です。子どもは小さな大人ではなく、年齢に比例して一直線に成長していくわけでもありません。それぞれの年代にやるべきことをやって最終的な成長へと導いていくことが重要です。これは日本サッカー協会の育成の非常に大きなテーマです。

JFAアカデミーでは「世界トップ10を目指した個の育成」「世界基準を日常に」をキーワードとし、あくまでも個の育成を目的とします。ロジック形式（寄宿制）による活動により、能力の高い者に良い指導、良い環境を与え、長期的視野に立ち、集中的に育成しています。

また、サッカーはもちろん、人間的な面の教育も重視し、社会をリードしていける真の世界基準の人材、JFAのフィロソフィーでもある、常に（どんなときでも、日本でも海外でも）ポジティブな態度で何事にも臨み、自信に満ち溢れた立ち居振る舞いのできる人間の育成を目的とします。才能を持つだけでは、必ずしも開花するとは限りません。才能を持つ者に良い環境を与え、本人の努力を伴わせることにより、世界に通用する選手を育成します。「世界基準」で日本をリードし、サッカーのみならず、広くスポーツ界、社会全体に発信できる、トータルなリーダーシップをそなえた人材の育成を目指しています。



この5つの言葉の真の意味を自分の言葉で言える
「自立した個人」を育成します。

目的

「世界基準」をキーワードとし、個の育成を目的とします。

ロジング形式（寄宿制）による教育により、能力の高い選手に良い指導、良い環境を与え、世界に通用する選手を育成します。また、サッカーはもちろん、人間的な面の教育も重視し、社会をリードしていける真の世界基準の人材、常に（どんなときでも、日本でも海外でも）ポジティブな態度で何事にも臨み、自信に満ち溢れた立ち居振る舞いのできる人間を育成します。

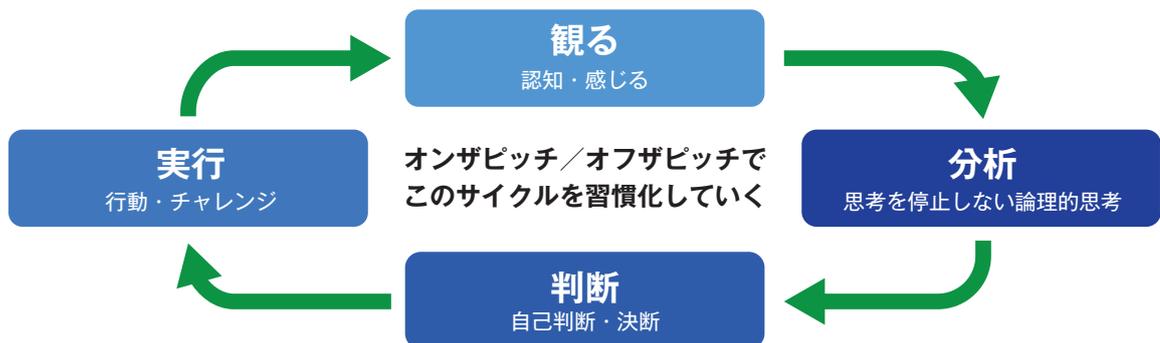
トレーニングコンセプト

個性を輝かせるための基本となるテクニックの質を高め、サッカーの原理原則を理解するとともに習慣化し、年代に即した育成を途切れなく徹底していきます。

育成年代で獲得すべきこと

観る・分析する・判断する・実行するというサイクルのもと、動きながらのテクニックや持久力、動きの習慣化などを高いレベルで身につけることを目指します。

<サッカーに模範解答はなく、たくさんの解決策や可能性がある>



●判断する基準を示しながらも思考を放棄・停止させない指導

「なぜ…？なぜならば…」という論理的な思考
…思考を停止させない働きかけをし続け、考えることの習慣化を促す。

特色

生活

- 成長期の選手に対しロジング形式（寄宿制）により
- ・移動による心身の負荷を軽減できる
- ・理想的な睡眠時間を確保できる
- ・理想的なタイミングで適切な栄養補給ができる
- ・成長期特有の怪我にも充実したメディカル体制により手厚く対応ができる
- ・寮生活により生活面での自立を促すことができる

トレーニング

- ・全国から高い志を持って集まった選手と日々切磋琢磨できる
- ・優秀なコーチングスタッフ（有資格者）のもと、質の高いトレーニングを実践できる

教育

- ・学習時間や環境も十分に確保できる

環境

- ・恵まれた専有施設（人工芝グラウンド・寮）を完備

運営・活動

JFA アカデミー福島

福島県、広野町、楢葉町の協力のもと日本サッカー協会直轄事業として運営しています。

2011年3月11日の東日本大震災により福島県内での活動が不可能になり、静岡に一時移転して活動を続けていますが、震災から10年目となる2021年4月にまずは男子中学1年生から段階的に福島での活動を再開しました。

※ 福島県での再開は、男子中学1年生が2021年4月(中学校3年間プログラム)、女子が2024年4月(中学校・高校6年間プログラム)を予定しています。福島県での再開計画については P.6 をご参照ください。また、福島男子の活動計画は JFA HP をご参照ください。

ロジング形式（寄宿制）

JFA アカデミー福島は、寮を完備し、『寄宿制』を採用しています。チーム登録をして公式戦に参加しています。

JFA アカデミー熊本宇城・堺・今治

地域を拠点とした関係団体が連携を図りながら、次世代を担う子どもたちのエリート育成施設として、それぞれが役割と責任を果たして運営しています。

ロジック形式（寄宿制）＋週末帰省

JFA アカデミー熊本宇城・堺・今治は、平日は寮に寄宿しアカデミーでの活動を行い、週末や長期休暇は帰省し地元のチームでの活動を行う『週末帰省型』を採用しています。そのため毎週末無理なく帰宅できる範囲を対象としています。

また、チーム登録をしてチームとしての公式試合活動は行いません（トレーニングの一環としてトレーニングゲームを行うことがあります）。

	運営全般・食事提供 施設利用調整	教育全般 施設改修・運営支援	普及・育成事業 指導者養成事業	コーチ派遣 トレーニング
福島（男女）	公益財団法人日本サッカー協会			公益財団法人 日本サッカー協会
熊本宇城	特定非営利活動法人 スポーツアカデミー熊本宇城	宇城市	一般社団法人 熊本県サッカー協会	
堺	一般社団法人 大阪府サッカー協会	堺市	一般社団法人 大阪府サッカー協会	
今治	特定非営利活動法人 今治しまなみスポーツクラブ	今治市	一般社団法人 愛媛県サッカー協会	

進路変更について

アカデミー在学中に様々な理由によりアカデミーでの活動の継続が困難になる場合も想定されます。その場合は個々のケースに応じて、選手本人にとって最も良い方法を、本人や家族、所属チーム、学校等と協議・検討し、判断していきます。

卒業後の進路についても、本人や家族、所属チーム、学校等と協議し、最も良い選択を共に行っていきます。

学校・寮

居住地の学区にある公立学校に通学し、学校生活を送ります。サッカーのプログラムだけでなく、学生にふさわしい学校生活・社会生活を大いに重視しながら、勉強面での指導も行います。

※2023年度入校生

	中学校	高校	寮
福島男子	広野町立広野中学校	—	広野町立サッカー支援センター終
福島女子	裾野市立富岡中学校	福島県立ふたば未来学園高等学校	帝人アカデミー富士*
熊本宇城	宇城市立小川中学校	—	宇城市立ふれあいスポーツセンター内
堺	堺市立月州中学校	—	J-GREEN 堺 DREAM CAMP
今治	今治市立朝倉中学校	—	旧今治市立上朝小学校

※中学2年時にJFAアカデミー福島女子寮（檜葉町中高一貫教育施設・サッカー人材育成支援センター）に移動予定



費用

アカデミーの活動には、入学手続金（初年度のみ）と毎月の活動費がかかります。

活動費に含まれる費用（抜粋）

- 住居費、食費、水道光熱費
- トレーニング用品
- 傷害保険費用
- アカデミー活動に関わる費用

活動費に含まれない費用（例）

- 学校に関わる費用（制服、学用品、給食費、教材費等）
- 帰省（帰宅）に関わる費用
- ※所属チームに関わる費用（熊本宇城・堺・今治）等

		初年度	2年目以降
入学手続金	福島（男子・女子）	200,000円	—
	熊本宇城・堺・今治	150,000円	
活動費（住居費、食費、水道光熱費等）		月額80,000円	月額80,000円
合計（年間）	福島（男子・女子）	1,160,000円	960,000円
	熊本宇城・堺・今治	1,110,000円	

活動費の減免について

ご家庭の経済状況や事情の変化により、アカデミーに支払う活動費に対する減免を行う場合があります。

JFA プログラム

サッカーは多くの仲間との関わりが重要です。ピッチ内外で起きる様々なことに対して、自ら対応し解決し、自立した個人に成長していくためにも、ピッチ外での人間的な教育も重視し、それらを「JFA プログラム」と総称し、実施しています。

プログラム（例）

英会話	ロジカルコミュニケーションスキル	学習サポート	大会運営補助
オンライン学習サービス	マナーセミナー	清掃活動	ASE
労作体験（稲作等）	健康教育	AED 講習	栄養セミナー

※内容はアカデミーや年度によって異なります。

英会話

世界で活躍できる人材の育成の一環として、英会話プログラムを導入しています。

少人数制で会話の機会を増やすことにより、海外遠征など他国選手との交流時に活用できるよう取り組んでいます。



ロジカルコミュニケーションスキル

論理的に組み立てる思考力や分析力、人前で話す能力や講義をするための能力などを身につけます。

これは日常での他者との会話に生かすだけでなく、一瞬の判断が求められるサッカーの試合中にも活用できるよう取り組んでいるプログラムです。



マナーセミナー

挨拶、言葉遣い、食事、手紙の書き方などを学びながら、マナーの本質とは何かを考え、他者への思いやり、感謝の心を育みます。



大会運営補助

SAMURAI BLUE やなでしこジャパンなどの日本代表の国際試合だけでなく、国内リーグの試合でも、試合運営をサポートする役割を担います。

多くのスタッフの支えにより試合が運営されていることを知る、また選手を身近に感じることで自分の将来を強く意識するきっかけになります。



労作体験

勤労・忍耐力・奉仕などの道徳的価値の育成を重視した、人間形成を行うプログラムです。

稲作などの労作体験を通して、地域の方々との交流も大切にしています。



海外遠征・研修プログラム

世界基準のサッカーを体験すること、そして、海外の歴史、生活、教育、スポーツ、自然などの文化に触れることで世界を身近に感じることを目的としています。

※新型コロナウイルス等の状況を鑑みて実施可否決定予定





JFA アカデミー 福島



トレーニング・ゲーム環境 ※2022年現在

男子	
中学生は3カテゴリー、高校生は1カテゴリーでトレーニングを行い、リーグ戦や大会に参加します。	
中学生	<ul style="list-style-type: none"> ○高円宮杯 JFA 全日本 U-15 サッカー選手権大会 ○日本クラブユースサッカー選手権 (U-15) 大会 ○(EAST) 相双地区U-15リーグ、福島県U-13リーグ、福島県リーグ2部 ○(WEST) 高円宮杯 JFA U-15 サッカーリーグ東海 ※2022年度は中学1年・中学2年は EAST (福島を拠点)、中学3年は WEST (静岡を拠点) として活動。
高校生	<ul style="list-style-type: none"> ○高円宮杯 JFA U-18 サッカープレミアリーグ ○日本クラブユースサッカー選手権 (U-18) 大会

女子	
中学生と高校生は合同でトレーニングを行い、リーグ戦や大会に参加します。	
中学生	<ul style="list-style-type: none"> ○JFA U-15 女子サッカーリーグ東海 ○JFA 全日本 U-15 女子サッカー選手権大会
高校生	<ul style="list-style-type: none"> ○プレナスなでしこリーグ 2部 ○XF CUP 日本クラブユース女子サッカー大会 (U-18) ○皇后杯 JFA 全日本女子サッカー選手権大会

※2021年4月より段階的な帰還が始まったことを受け、現在は福島・静岡の2拠点で活動を行っています。
特に、U-15カテゴリーにおいては、同一カテゴリー内で福島・静岡とそれぞれの拠点ごとにチーム登録しているため、現在は、福島拠点を「JFAアカデミー福島EAST」、静岡拠点を「JFAアカデミー福島WEST」として活動を行っています。

スタッフ体制

	男子		女子
	EAST	WEST	
スクールマスター	菅野 貴夫 ^{※1}	林 義規 ^{※2}	綾部 美知枝
統括ダイレクター	大橋 浩司		山口 隆文
チーフコーチ	池内 豊	古賀 琢磨	山口 隆文
コーチ	松岡 仁司	船越 優蔵★	金野 結子☆
	佐藤 令治	津田 恵太	須藤 啓太
	—	安部 一雄	保坂 太雅
	—	廣山 望★	—
	西脇 徹也☆		—
GKコーチ	阿部 陽輔	山岸 範宏	加藤 竜二☆
	—	高原 寿康	—

	男子		女子
	EAST	WEST	
トレーナー	安藤 貴之		
	志小田 正人	星川 希洋	武川 夏奈
総務	堤 葉子		
	大門 勇登	吉野 光月	細木 典子

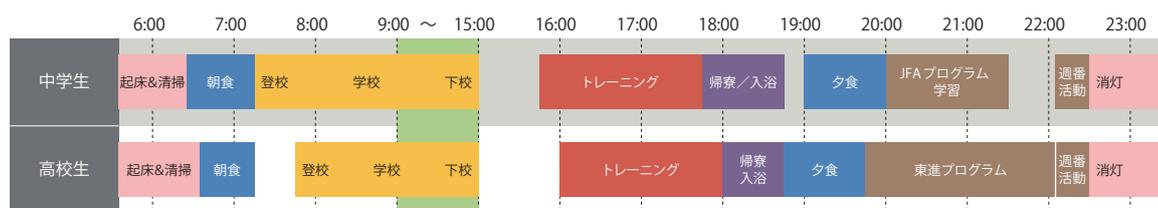
※1：(一財) 福島県サッカー協会 会長
 ※2：(公財) 東京都サッカー協会 会長/JFA 副会長/技術委員

★印は、ナショナルコーチングスタッフ兼務
 ☆印は、JFAコーチ兼務

JFAアカデミー福島の情報はホームページでご覧いただけます。▶



📅 スケジュール (平日)



🏆 代表活動 ※アカデミー在籍中

各年代の代表選手も輩出しています。

男子		女子	
AFC U-19 選手権予選	1名	AFC U-19 女子選手権	2名
FIFA U-17 ワールドカップ (ブラジル)	1名	AFC U-16 女子選手権	4名
AFC U-16 選手権	1名	FIFA U-20 女子ワールドカップ (フランス)	1名
—	—	FIFA U-17 女子ワールドカップ (ウルグアイ)	4名
AFC U-16 選手権	3名	AFC U-19 女子選手権	2名
AFC U-16 選手権予選	3名	AFC U-16 女子選手権	5名
		FIFA U-17 女子ワールドカップ (ヨルダン)	2名
		AFC U-19 女子選手権	1名
		AFC U-16 女子選手権	4名

※2020年・2021年:大会中止

⚠️ 【重要】JFAアカデミー福島の福島県での再開について

東日本大震災により静岡県に一時移転している JFA アカデミー福島の活動を以下の通り福島県広野町 (男子)、楯葉町 (女子) にて再開させる予定です。

1. JFA アカデミー福島男子に関する再開方法

- 再開時期 2021年4月
- 再開方法 2021年4月に中学1年生 (16期生) が入校し活動を再開しました。1学年ずつ順次入校し、2023年4月、18期生入校により3学年が揃います。
- 在籍期間 中学校の3年間プログラムとなります。

2. JFA アカデミー福島女子に関する再開方法

- 再開時期 2024年4月
- 再開方法 全学年 (中学3学年、高校3学年) で活動を再開します。2024年3月の時点で静岡県で活動している5学年 (14期生~18期生) は福島県に帰還し、2024年4月、19期生の入校により6学年が揃います。
- 在籍期間 中学校・高校の6年間プログラムとなります。



JFAアカデミー福島は、スポーツ振興くじ助成金を受けて実施しています。

昨年度の男子 16 期生から福島県に帰還して活動しています。13 歳から 15 歳の 3 年間のプログラムで選手が主体的にプレーし、「将来 SAMURAI BLUE の選手になる、海外でも活躍できる選手になる」という選手の夢を実現できるように、ここでは様々な取り組みでサポートしています。テクニカルスタッフが個別指導を中心に働きかけ、様々な JFA プログラムで人間性や社会性を高めることや学習サポートも大切にしています。多くの機能を持つ寮や、専用の人工芝一面と屋根付き半面グラウンドがあり、近隣にある JFA メディカルセンターとも連携して選手の健康管理に努めています。また、JFA フィジカルフィットネスプロジェクトや GK プロジェクトとも連携をとって活動し、選手の自立と夢の実現に向けてサポートしていきます。

男子 EAST
チーフコーチ
池内 豊



JFA アカデミー福島女子は、現在壮大で美しい富士山の麓にある帝人アカデミー富士にて活動しています。施設内には、安心安全な寮、いつでも使える人工芝のグラウンド、トレーニングルームがあり、「将来なでしこ JAPAN の選手になる、海外でも活躍できる選手になる」という選手の夢を実現できるように最高の施設を準備しています。また、我々コーチングスタッフだけでなく、フィジカル面、メディカル面など JFA からのスタッフとも連携し、選手の夢の実現に向けて最大限のサポートをしています。

女子チーフコーチ
山口 隆文



JFA アカデミー福島、3期生の金子翔太です。ジュビロ磐田の選手として今も現役でプレーしています。ここでの6年が僕のサッカー人生を大きく変えました。親元を離れる不安もありましたが、レベルの高い指導者、レベルの高いチームメイト、最高の環境は日本一だと思っています。そして、人間的にも成長させてくれるのがアカデミーの強みでもあります。コミュニケーションスキル、マナープログラム、英会話、海外留学、地域交流などのプロジェクトもあり、たくさんの経験を積むことができます。僕のプロとしての基盤を作っていたアカデミーには感謝しかありません。是非、挑戦していただきたいと思います。



©JUBILO IWATA

ジュビロ磐田
金子 翔太
(3期生)

JFA アカデミー福島で過ごした6年間は私にとって最高の財産です。素晴らしいスタッフや仲間と囲まれ大好きなサッカーを思う存分楽しみ、年代別代表の先輩と同じピッチでプレーすることは夢のような日々でした。世界基準のトレーニングやコミュニケーション能力、マナーなどサッカー選手、また一人の人間として大事な要素を一番成長できる中学、高校年代で学ぶことができました。私にとって JFA アカデミー福島という素晴らしいチームは夢への架け橋だと思っています。今、エンジェル・シティ FC でプレーし、なでしこジャパンである原点は、JFA アカデミー福島で成長したからだと思いません。ぜひ JFA アカデミー福島で大きく成長し、夢に向かって頑張ってください。私も現状に満足せず、皆さんに負けないように頑張ります。一緒に夢に向かって頑張りたいです！



写真提供：エンジェル・シティFC

エンジェル・シティ FC
遠藤 純
(8期生)

卒校生進路 (卒校時/過去3年)※順不同

男子

<3年間プログラム>

- 鹿島アントラーズユース (茨城県)
- 尚志高校 (福島県)
- 富山第一高校 (富山県)
- サンフレッチェ広島F.Cユース (広島県)
- 鹿島学園高校 (茨城県)
- 興國高校 (大阪府)
- サガン鳥栖U-18 (佐賀県)
- 市立船橋高校 (千葉県)
- 神村学園高等部 (鹿児島県)

<6年間プログラム>

- モンテディオ山形
- 東洋大学
- 桐蔭横浜大学
- 水戸ホーリーホック
- 立教大学
- 日本体育大学
- アルビレックス新潟
- 早稲田大学
- 山梨学院大学
- V・ファーレン長崎
- 千葉商科大学
- 新潟経営大学
- 札幌大学
- 日本大学
- 名古屋学院大学
- 仙台大学
- 青山学院大学
- 岐阜協立大学
- 流通経済大学
- 関東学院大学
- 大阪産業大学
- 上武大学
- 國學院大学
- 鹿屋体育大学
- 大東文化大学
- 産業能率大学
- 東京国際大学
- 専修大学

女子

<6年間プログラム>

- 三菱重工浦和レッズレディース
- ヴェルスバ大分レディース
- 順天堂大学
- ジェフユナイテッド市原・千葉レディース
- フロリダ州立大学 (アメリカ)
- 日本体育大学
- ノジマステラ神奈川相模原
- イーストテネシー州立大学 (アメリカ)
- 新潟医療福祉大学
- A C長野パルセイロ・レディース
- 札幌大学
- 東洋大学
- アルビレックス新潟レディース



JFA アカデミー 熊本宇城



宇城市の協力

JFAの「JFA2005年宣言」の趣旨に賛同した熊本県宇城市が、その約束の実現に向けて大きな担い手となる子どもたちのために、サッカーを通じて、「大きな夢を抱ける環境」を用意することが大人の使命であると考え、地域拠点の設立を決定しました。地域の拠点として、若年層育成のフィロソフィーや方法を発信するとともに、ハード、ソフトの両面で地域のスポーツの発展に貢献・寄与することを主眼に置いた、JFA アカデミー熊本宇城開校の受け皿となるべく「特定非営利活動法人スポーツアカデミー熊本宇城」が設立されました。「JFA アカデミー熊本宇城」の招致を目指し、地元自治体（宇城市）の協力の下、県サッカー協会と協力体制を構築しながら開校に向け計画を進めてきました。

特定非営利活動法人スポーツアカデミー熊本宇城は「熊本県及び西日本地域におけるスポーツ活動の普及および振興を図り、スポーツを通してのまちづくり、地域活性化、人材育成に関する事業を行い、地域社会の貢献活動に寄与する」を実現（達成）するため、関係各団体等と連携を図りながら、地域の拠点として、次世代を担う子どもたちへの一助となるべく役割を果たしていくことを目的としています。

スタッフ体制

スクールマスター	井 薫※
統括ダイレクター	大橋 浩司
チーフコーチ	塚田 雄二
コーチ	宮川 真一☆
	藤山 卓
	西脇 徹也
GKコーチ	墨屋 孝☆
トレーナー	岩佐 朋樹

※：（一社）熊本県サッカー協会 特別顧問
☆印は、JFAコーチ兼務





JFAアカデミー熊本宇城の情報はホームページでご覧いただけます。▶



スケジュール

	6:00	7:00	8:00	9:00 ~ 15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00
月曜	起床&清掃	朝食	登校	学校	下校		夕食		JFAプログラム/学習		消灯	
火曜・木曜	起床&清掃	朝食	登校	学校	下校		トレーニング		夕食	JFAプログラム 学習		消灯
水曜	起床&清掃	朝食	登校	学校	下校		トレーニング (トレーニングマッチ)		夕食	JFAプログラム/学習		消灯
金曜	起床&清掃	朝食	登校	学校	下校		トレーニング		帰省 ←			
土曜	←											
日曜									帰寮		コンディション チェック	消灯



在校生所属チーム (2022年4月現在) ※順不同

選手は毎週末や長期休暇には自宅へ帰省、自宅近くのチームに所属（登録）し、帰省時には所属チームでのトレーニングや試合などの活動を行います。

- 久留米 AZALEA U-15 (福岡県)
- IBUKI 北九州 (福岡県)
- FC ソレイユ (佐賀県)
- FC 雲仙エステイオール (長崎県)
- UKI-C.FC (熊本県)
- FCK MARRY GOLD KUMAMOTO (熊本県)
- ソレッソ熊本 (熊本県)
- プレイズ熊本 (熊本県)
- 太陽 SC 熊本五名 (熊本県)
- 太陽宮崎 SC U-15 (宮崎県)
- FC KAJITSU U-15 (鹿児島県)
- チェステレラ鹿児島フットボールクラブ (鹿児島県)
- ソレッソ宮崎 (宮崎県)
- エクセデール長崎フットボールクラブ (長崎県)
- FC グラーナ武雄 (佐賀県)
- FCK MARRY GOLD AMAKUSA (熊本県)
- UFA バルティエーダ U-15 (大分県)
- CALCIATORE U-15 (鹿児島県)
- 飛松 FC (鹿児島県)
- FC アンジョイ U15 (鹿児島県)
- FC LISOL (熊本県)
- シャルム FC 熊本 (熊本県)
- アスフィーダ熊本 (熊本県)
- SALTZ FC (福岡県)
- 筑後サザン FC サレストレーラ (福岡県)



JFA アカデミー熊本宇城では、九州各地から情熱をもって集結したアカデミー生がピッチでも寮生活でも切磋琢磨し、週末のたびに所属するチームに戻って、九州の至る所で熱い試合を繰り返しています。アカデミーにあるのは、人生において身も心も最も成長する中学年代を、自らが選んだサッカーを通して成長する日々です。そこにはサッカーだけでなく、英会話、コミュニケーションスキル、労作活動など多岐にわたる経験も含まれます。「九州から代表選手を」という九州中の指導者の想いととも、世界基準で通用する選手、そして様々な分野のリーダーとなる人材を育成するべく日々を積み上げています。

チーフコーチ
塚田 雄二



卒校生からのメッセージ

JFA Academy KUMAMOTO UKI

JFA アカデミー熊本宇城5期生で、V・ファーレン長崎に所属している江川湧清です。私は、JFA アカデミー熊本宇城で、「常に周りを見る」「正確にボールを止める・蹴る」というサッカーの基礎技術を徹底的に自分に叩き込みました。特に私は、高校を卒業してプロになったので、フィジカル的に他の選手よりも劣るところがありましたが、だからこそJFA アカデミーで培った「テクニック」を生かすことができました。また、サッカー以外の部分でも、「自立すること」を学びました。寮生活では、自分のことは自分でやるのは当たり前です。その中で、考えて行動する力、コミュニケーション能力などが成長した実感があります。

プロサッカー選手になった今、試合に出場するために毎日毎日必死です。試合に出るために必要なことは「チャンスをもにすること」。そのチャンスはいつあるかわかりませんが、常に良い準備をして100%の力で練習しており、それを支えてくれているのは、JFA アカデミー熊本宇城で過ごした3年間です。

プロサッカー選手になるための近道はありません。しかし、JFA アカデミー熊本宇城にはプロサッカー選手に近づくための環境があります。チャンスは自分で掴むものです。ぜひ、皆さんの夢にチャレンジしてください!

V・ファーレン長崎
江川 湧清
(5期生)



©VVN

卒校生進路 (卒校時)※順不同

- 鹿島アントラーズユース (茨城県)
- 浦和レッドダイヤモンズユース (埼玉県)
- 清水エスパルスユース (静岡県)
- 京都サンガF.C.U-18 (京都府)
- ガンバ大阪ユース (大阪府)
- ヴィッセル神戸U-18 (兵庫県)
- ファジアーノ岡山 U-18 (岡山県)
- サンフレッチェ広島F.Cユース (広島県)
- レノファ山口FC U-18 (山口県)
- アビスパ福岡U-18 (福岡県)
- ギラヴァンツ北九州U-18 (福岡県)
- V・ファーレン長崎 U-18 (長崎県)
- ロアッソ熊本ユース (熊本県)
- 大分トリニータU-18 (大分県)
- 鹿児島ユナイテッドFC U-18 (鹿児島県)
- 群馬育英学園私立前橋育英高等学校 (群馬県)
- 船橋市立船橋高等学校 (千葉県)
- 静岡学園高校等学校 (静岡県)
- 帝京長岡高等学校 (新潟県)
- 近江高等学校 (滋賀県)
- 滋賀県立草津東高等学校 (滋賀県)
- 京都橘高等学校 (京都府)
- 立正大学湘南高等学校 (島根県)
- 岡山県作陽高等学校 (岡山県)
- 高川学園高等学校 (山口県)
- 東福岡高等学校 (福岡県)
- 東海大学付属福岡高等学校 (福岡県)
- 福岡県立八女高等学校 (福岡県)
- 九州産業大学付属九州高等学校 (福岡県)
- 佐賀県立佐賀東高等学校 (佐賀県)
- 佐賀龍谷学園高等学校 (佐賀県)
- 長崎県立国見高等学校 (長崎県)
- 創成館高等学校 (長崎県)
- 長崎総合科学大学附属高等学校 (長崎県)
- 熊本学園大学付属高等学校 (熊本県)
- 東海大学付属熊本星翔高等学校 (熊本県)
- 熊本国府高等学校 (熊本県)
- 熊本県立大津高等学校 (熊本県)
- 熊本県立熊本商業高等学校 (熊本県)
- 熊本県立熊本農業高等学校 (熊本県)
- 熊本県立第二高等学校 (熊本県)
- 秀岳館高等学校 (熊本県)
- 大分県立大分鶴崎高等学校 (大分県)
- 大分県立中津南高等学校 (大分県)
- 日本文理大学附属高等学校 (大分県)
- 鵬翔高等学校 (宮崎県)
- 日章学園高等学校 (宮崎県)
- 宮崎日本大学高等学校 (宮崎県)
- 鹿児島実業高等学校 (鹿児島県)
- 神村学園高等部 (鹿児島県)
- 飯塚高等学校 (福岡県)
- 高稜高等学校 (福岡県)
- 中央学院高等学校 (千葉県)
- 筑陽学園高等学校 (福岡県)





JFA アカデミー 堺



堺市及び大阪府サッカー協会の協力

堺市が2010年4月に「堺市立サッカー・ナショナルトレーニングセンター（愛称：J-GREEN 堺）」を開設し、同施設がスポーツ交流の拠点としての機能を更に強化するため、利便性向上等の観点から、堺市並びに一般社団法人大阪府サッカー協会が連携し、同施設内に於いて宿泊施設の整備を進め、2012年4月に「DREAM CAMP」がオープンしました。JFA アカデミー堺はその一部を寮として専用利用しています。堺市と大阪府サッカー協会は、宿泊施設の整備に伴い、J-GREEN 堺におけるJFA アカデミーの招致をめざすこととなり、2012年度にDREAM CAMPのオープンと時期同じくJFA アカデミー堺も開校しました。「JFA2005年宣言」の趣旨のもと、JFA がこれまでにJFA アカデミー福島及びJFA アカデミー熊本宇城を通じて推し進めていた若年層のフィロソフィーや方法を発信すること、ハード・ソフト面の両面で地域スポーツの発展に貢献・寄与することについて、堺市及び大阪府サッカー協会が賛同し、JFA と連携しながら、JFA アカデミー堺の運営を行うこととなりました。

JFA アカデミー堺の特徴は、J-GREEN 堺内にあることから、ピッチから寮までの距離が短く、トレーニング後の食事をすぐにとることができる等優れた環境です。また、J-GREEN 堺は、海外チームや団体が多く利用することから、海外の方との交流を通じて、世界基準を肌で感じて、実践する貴重な機会が得られます。

スタッフ体制

スクールマスター	藤縄 信夫*
統括ダイレクター	山口 隆文
チーフコーチ	加藤 賢二☆
コーチ	込山 友
	武末 彩子
GKコーチ	櫛引 実☆
トレーナー	小杉 海
総務	大江 あかり
スクールアドバイザー	金坂 正廣

※：(一社)大阪府サッカー協会 会長
☆印は、JFAコーチ兼務





JFAアカデミー堺の情報はホームページでご覧いただけます。▶



スケジュール

	6:00	7:00	8:00	9:00 ~ 15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00
月曜	起床&清掃	朝食	登校	学校	下校			夕食	JFAプログラム/学習			消灯
火曜~木曜	起床&清掃	朝食	登校	学校	下校	トレーニング		夕食	JFAプログラム 学習			消灯
金曜	起床&清掃	朝食	登校	学校	下校	トレーニング	軽食	帰省				
土曜												
日曜								帰寮				消灯



在校生所属チーム (2022年4月現在) ※順不同

選手は毎週末や長期休暇には自宅へ帰省、自宅近くのチームに所属（登録）し、週末や帰省時には所属チームでのトレーニングや試合などの活動を行います。

- 緑フットボールクラブ（愛知県）
- ラブリッジ名古屋（愛知県）
- 武生フットボールクラブ（福井県）
- 敦賀FCジュニアユース（福井県）
- SAGAWA SHIGA FOOTBALL ACADEMY Jr.ユース（滋賀県）
- バニース京都SC flaps U-15（京都府）
- JP FELIZ CORUJA（京都府）
- URANO.S KYOTO Girls U-15（京都府）
- FC ヴィトリア（大阪府）
- pazduro（大阪府）
- RESC GIRLS U-15（大阪府）
- AC. gloria girls（大阪府）
- SAKURA UNITED F.C（大阪府）
- クラブリーナ東住吉（大阪府）
- AS ハリマアルビオンユース（兵庫県）



JFA アカデミー堺について

JFA Academy SAKAI

「次のステージでより輝ける選手に」をスローガンに掲げて選手の育成を行っています。週末帰省型のアカデミーのため、週末のリーグ戦や大会の日程に影響されることなく、3年間という長い期間の中でじっくりと課題に向き合い、着実に成果を積み上げていくことができるスタイルだと考えます。3年間で完成を目指すのではなく、次のステージでより輝くために必要な、トップアスリートとしての土台となるフィジカル面の強化（怪我をしない体作り、動作の獲得）、適格な判断のもと正確なテクニックを発揮するために、サッカーの原則を理解して動きながらのテクニックを身につけるための反復練習をととも大事にしています。次のステージでより輝ける選手になるためには、オン・ザ・ピッチの取り組みだけでは十分ではありません。オフ・ザ・ピッチでの成長があってこそオン・ザ・ピッチでも成長できると考えています。寮生活を通して基本的な生活習慣を確立し、「自立した人間」に成長することを願っています。

チーフコーチ
加藤 賢二



卒校生からのメッセージ

私はアカデミー堺での3年間、岡山湯郷 Belle に所属していました。金曜夜に岡山へ帰省し、日曜夜に大阪に帰寮する生活はとても大変でした。しかし、アカデミー堺での3年間はそれ以上に得るものが多かったです。最高のスタッフから世界基準の指導を受け、同じ目標を持つ仲間とトレーニングを積み、サッカーに没頭できる環境でした。そして寮生活で食事や時間の管理、協調性を養い、それが自立につながり、人間的にも成長しました。毎週末の長距離帰省は大変ではあったけど、毎週末、家族に会えることは中学生の私にはちょうど良いリフレッシュだったと思います。アカデミー堺で一緒に生活した仲間は、同期だけでなく先輩や後輩も含めて卒校した今でも仲良くしていて、一生涯の友人になれました。中学3年間をアカデミー堺で生活することができて、本当に幸せだったと改めて思います。



日本体育大学
朝倉 加奈子
(4期生)

©日体大SMG横浜

卒校生進路 (卒校時) ※ 順不同

- FCヴィトリア (大阪府)
 - セレッソ大阪堺レディース (大阪府)
 - バニース京都SC flaps U-18 (京都府)
 - 常盤木学園高等学校 (宮城県)
 - 聖和学園高等学校 (宮城県)
 - 村田女子高等学校 (東京都)
 - 藤枝順心高等学校 (静岡県)
 - 福井工業大学附属福井高等学校 (福井県)
- 大阪桐蔭高等学校 (大阪府)
 - 大商学園高等学校 (大阪府)
 - 追手門学院高等学校 (大阪府)
 - 大阪学芸高等学校 (大阪府)
 - 日ノ本学園高等学校 (兵庫県)
 - 神戸弘陵学園高等学校 (兵庫県)
 - 姫路女学院高等学校 (兵庫県)
 - 岡山県作陽高等学校 (岡山県)
- 徳島県立鳴門渦潮高等学校 (徳島県)
 - 鳳凰高等学校 (鹿児島県)
 - 香川西高等学校 (香川県)
 - 開志学園高等学校 (新潟県)
 - 日本航空高等学校 (山梨県)
 - AICJ高等学校 (広島県)





JFA アカデミー 今治



今治市及び愛媛県サッカー協会の協力

今治市を中心に一般社団法人愛媛県サッカー協会の協力のもと、招致の要望により、女子育成年代のプルアップ効果が期待されるとともに、普及・育成事業や指導者養成事業の面でも拠点となり得る（ボトムアップ）等、愛媛県今治市を中心に四国・中国地域及び九州の一部を範囲として、女子サッカーの今後の発展に期待し、2015年4月にJFAアカデミー今治は開校しました。JFAアカデミーのフィロソフィーに基づき、中学生年代（3年間）の女子の育成に直接的に働きかけ、JFAアカデミーが地域の拠点として機能するとともに、さらにその地域のタレント発掘や育成、普及、指導者養成等について活性化を図ることを目的としています。

開校に際し、今治市、地元企業、運営主体である特定非営利活動法人今治しまなみスポーツクラブにより、宿舎として利用している旧上朝小学校（2014年3月閉校）の校舎の改修、教育委員会による中学校との連携、グラウンド利用の調整など、市として一貫した支援体制を作り、アカデミーを総合的に支援しています。

スタッフ体制

スクールマスター	豊島 吉博 [※]
統括ダイレクター	山口 隆文
チーフコーチ	大野 真☆
コーチ	木村 リエ☆
	植村 公亮
GKコーチ	監物 政希☆
トレーナー	横田 沙也香

※：（一社）愛媛県サッカー協会 会長
☆印は、JFAコーチ兼務



JFAアカデミー今治の情報はホームページでご覧いただけます。▶



スケジュール

	6:00	7:00	8:00	9:00 ~ 15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00
月曜	起床	朝食	登校	学校	下校				夕食	JFAプログラム	学習	消灯
火曜～木曜	起床	朝食	登校	学校	下校	トレーニング			夕食	JFAプログラム 学習		消灯
金曜	起床	朝食	登校	学校	下校	トレーニング	軽食	帰省				
土曜												
日曜									帰寮			消灯



在校生所属チーム (2022年4月現在) ※順不同

選手は毎週末や長期休暇には自宅へ帰省、自宅近くのチームに所属（登録）し、週末や帰省時には所属チームでのトレーニングや試合などの活動を行います。

- FC EFFRONTE (岡山県)
- フライアフトボールクラブ (岡山県)
- FCツネインレディース (広島県)
- サンフレッチェ広島レジーナジュニアユース (広島県)
- 福山ローザレディース (広島県)
- FC STORY Tokushima メニーナ (徳島県)
- F.C.コーマレディースアザレア (香川県)

- 丸亀ELF女子F.C (香川県)
- FC今治レディースNEXT (愛媛県)
- 愛媛FCレディースMIKAN (愛媛県)
- トレーフルFC (愛媛県)
- 高知学園女子サッカー部 (高知県)
- SAKURA UNITED F.C (大阪府)



JFA アカデミー今治は開校以来、地元、今治の方をはじめ、多くの方々からの温かいサポートを受け、8年目を迎えました。JFA アカデミー今治の特長は、毎日トレーニングを行う桜井スポーツランドのサッカー場のすぐ隣には瀬戸内海が広がり、日常生活をおくる朝倉の寮は緑豊かな山々に囲まれて、恵まれた大自然の中で選手達が伸び伸びと生活を楽しんでいる点です。トレーニングがオフの時には、選手達は近くの川やダムまで散策を楽しんだりもしています。他のアカデミーと同様にアカデミーのフィロソフィーを基に、サッカーの活動は元より、JFA プログラムも行いながら、より快適に寮での生活をおくるためのルールを選手自らが話し合っ決めて、その決めたルールの中で36名の選手達が寮生活を楽しみながら、勉学との両立に向けて日々、努力を続けています。

チーフコーチ
大野 真



卒校生からのメッセージ

私は中学の3年間という大切な時間を JFA アカデミー今治で過ごすことができ、本当に良かったと感じています。アカデミーはオンザピッチでは、日々整った環境で質の高い TR がレベルの高い仲間たちとすることができ、自分と本気向き合いながらサッカーをすることができました。またそれ以上にオフザピッチでの学びが多く、サッカー選手である前に1人の人間、女性としての礼儀や立ち居振る舞いなど生きていく上で大切なことをたくさん学ばせてもらいました。私にとってアカデミーでの3年間はこれまでの人生の中で一番濃いもので、これから先もここで学んだことや色んな人との出会いは忘れることのない宝物です。最後に、私はアカデミーでの3年間の中で高校卒業後は海外でサッカーと勉強をするという自分の目標に出会うことができ、その目標に少しずつ近づくことができています。皆さんに伝えたいことは、周りの環境はもちろん大切ですが、自分の取り組みや努力次第で夢や目標は叶えられるということです。良い環境に行けば目標が達成できるという考えではなく、自分が選んだ場所で何をすることが一番大事だと思うので、その選択肢の1つとしてアカデミーは必ずプラスな経験になると思うので是非チャレンジしてみてください！

Davis & Elkins College
(アメリカ合衆国) 進学予定

川崎 和音
(2期生)



卒校生進路 (卒校時) ※順不同

- FC今治レディース (愛媛県)
- 大商学園高等学校 (大阪府)
- 岡山県作陽高等学校 (岡山県)
- 聖和学園高等学校 (宮城県)
- 神戸弘陵学園高等学校 (兵庫県)
- AICJ高等学校 (広島県)
- 十文字高等学校 (東京都)
- 日ノ本学園高等学校 (兵庫県)
- 磐田東高等学校 (静岡県)
- 星槎国際高等学校湘南 (神奈川県)
- 広島文教女子大学附属高等学校 (広島県)
- 東海大学付属福岡高等学校 (福岡県)
- 佐久長聖高等学校 (長野県)
- 四国学院大学香川西高等学校 (香川県)
- 藤枝順心高等学校 (静岡県)
- 福井工業大学附属福井高等学校 (福井県)
- 高知高等学校 (高知県)
- 大阪桐蔭高等学校 (大阪府)
- 大阪学芸高等学校 (大阪府)
- 徳島県立鳴門渦潮高等学校 (徳島県)



誰もが安心・安全に心からサッカー、スポーツを楽しむために



お互いに、ありがとう！

サッカーは楽しいもの。自分がやりたくてやるもの。そのためにも、**安心、安全な場**が必要です。

サッカーには暴力も暴言もありません。子どもたちの**挑戦する勇気**を見守り、励ましてください。

子どもたちは精一杯がんばっています。**応援**してください。

相手チームも**大切な仲間**です。両方の良いプレーに拍手を送ってください。

審判員も、子どもたちが思い切ってゲームができるように、**良いゲーム**になるように、一生懸命務めています。頑張って勉強も準備もしています。応援してください。

フェアプレーはみんなの約束です。1人審判はみんなの協力で成り立つサッカーのすばらしさの証です。

運営の人達は大変です。子どもたちのために良い大会にしたいと頑張っています。ぜひ「**おつかれさまです**」と声をかけてください。

保護者の皆さん。いつもありがとうございます。子どもたちは皆、**感謝**しています。

サポーターも、すばらしいゲームをつくる大事な仲間です。**爽快な良いゲーム**を！

ボールは僕の相棒であり、**宝物**。スパイクもバッグもお気に入り。大切に使う。

すばらしいピッチ、きれいな施設。きれいに使う。**ありがとうございます**。

たくさんのチャレンジ。成功と失敗。達成感とくやしさを。勝っても負けても、すばらしい経験。子どもたちの**成長をサポート**できることは幸せです。

molten[®]
For the real game



For the real game

「プレイヤーの技術や意志が100%発揮される時、スポーツは本物になる」

私たちモルテン・ブランドは、この信念をもとに
ボールとスポーツエキップメント・メーカーとして
常に完璧な製品づくりを目指しています。



本大会試合球
ヴァンタッジオ5000
品番 **F5A5000**

国際公認球 検定球

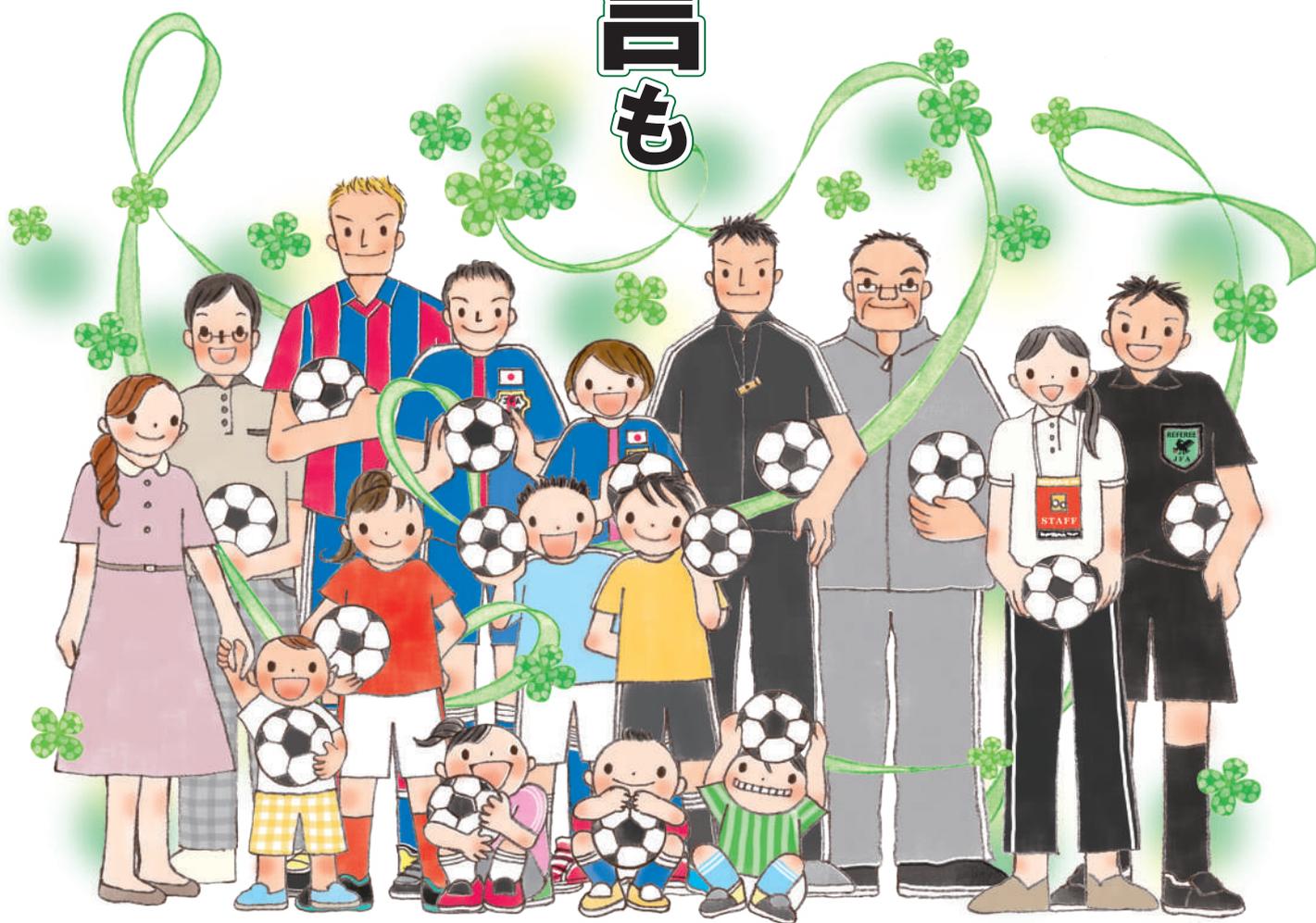
アセンテック 人工皮革 5号球 芝グラウンド用



www.molten.co.jp

誰もが安心・安全に心からサッカー、スポーツを楽しむために

サッカーに
暴力も暴言も
いらない！



自分を成長させてくれた、大好きなサッカーだから
誰にもきらいになってほしくない！



DREAM
PROGRESS

公益財団法人 日本サッカー協会

「日本初」※の 新しいテーピング

このフィット感は是非、
皆さんにも体感してほしい!!

プロサッカー選手 長谷部 誠 も愛用



Wダブル グリップTM HYBRID自着バンデージ



75mm 幅 希望小売価格(税抜) 1,400円
カラー / 青・黄・ベージュ

50mm 幅 希望小売価格(税抜) 950円
カラー / 青・黄・ベージュ

伸縮テーピングと
アンダーラップの

Wダブル
機能

全国のドラッグストア、スポーツ量販店で
絶賛お取り扱い中です

無料会員募集中!



安藤貴之氏 / 檜山里美氏

中・高校生育成年代のエリート
を指導するアスレチックトレー
ナーにお話を伺いました。



並木磨去光氏

第一回はアスレチックトレー
ナーに体のセルフケアについてア
ドバイをいただきました。



セルフコンディショニングとは
監修：日本サッカー協会
医学委員会

QRコードで
今すぐアクセス!



「日本サッカーを強くする」メディカルに関する情報サイト

サッカーメディカルサポート

JYD OKAZAKI & BATTLEWIN (TM) PROGRAM とバトルウィンが日本サッカーを強くする

「日本サッカーを強くする」メディカルに関する情報サイト

サッカーメディカルサポート

<https://www.battlewin-jyd.com/>



日本サッカーの発展のため、
さらなる普及や次世代選手育成の促進を。

JFA Youth & Development Programme



OFFICIAL PARTNER

TOYOTA



molten[®]
For the real game

TECHNICAL PARTNER

PHILIPS

GREENPROJECT PARTNER

TOA
東亜道路工業

FUJITA
Daiwa House Group[®]

JYD SUPPORTER

 **日本総研**
The Japan Research Institute, Limited

Deloitte
デロイト トーマツ

The Pokémon Company

JYD

